

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 2 回茨木市文化振興施策推進委員会
開催日時	平成 27 年 11 月 10 日 (金) (午前・ <u>午後</u>) 1 時 30 分 開会 (午前・ <u>午後</u>) 3 時 20 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
議 長	出口委員 (委員長)
出席者	飯嶋委員、木村委員、栗本委員、後藤委員、出口委員、森 委員、 山野委員 【7 人】
欠席者	安藝委員、松本委員 【2 人】
事務局職員	大西市民文化部長、田川市民文化部理事、上西文化振興課長、 庄田文化振興課長代理、前田社会教育振興課文化財係長 【5 人】
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 / <input type="checkbox"/> 非公開
議題 (案件)	(1) 市民会館関連 (2) 文化芸術推進市民会議 (3) 文化事業実施状況
配布資料	(1) 次第 (2) 説明資料 (3) 参考資料

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>ただ今から、第2回茨木市文化振興施策推進委員会を開催いたします。では、最初に委員の出席状況を事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>本日ご出席の委員は7人、ご欠席は2人ということで、全委員の過半数がご出席いただいておりますので、茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条第2項により、会議は成立しております。</p>
出口委員長	<p>それでは、これより、案件の審議に入ります。まず、報告案件について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、最初に次第の報告案件についてですが、市民会館関連の9月議会の報告ということで、具体的には市民会館閉館に関するものが2件ありました。</p> <p>一つ目は、昨年の12月の議会において、昭和44年の開館以来、修理等の維持管理経費の増加や、舞台装置等の旧式化、バリアフリー対策、耐震性等の問題などから、本年12月末での市民会館閉館を提案し、承認いただきましたところですが、この9月議会におきまして、市民会館閉館に反対している会派から「茨木市市民会館条例の一部を改正する等の条例の一部改正について」ということで、閉館の取りやめについての議案が提出されました。また、「現市民会館の当面の存続を求めることについて」の請願についても提出されました。</p> <p>しかしながら、東日本の大震災以降、東南海・南海地震などいつ起こるかわからない状況のもとで使い続けるということは如何なものかといった質疑もあり、大震災の発生による危険性など、安全面から議案については「否決」、請願については「不採択」となりました。</p> <p>二つ目は、市民会館閉館に関連しまして市から、「茨木市立市民体育館条例の一部改正について」を提案しました。</p> <p>その内容としましては、市民体育館において、市民の福祉や文化の向上に資する事業等の開催を可能とすることと、市民会館では、政治、宗教的目的の利用ができましたことから、市民体育館の使用制限に関する規定から「政治、宗教的目的を有するもの」を除外するなど、市民会館のホール機能を体育館で補完するといった内容でありました。</p> <p>しかしながら、①稼働率が高い現状において、スポーツ活動以外の目的</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>に使用するのは、本来の目的を損なう。②近隣市においてそのような事例がない。③スポーツ関係団体やスポーツ推進審議会において、十分議論されていないことや、④空調がないことや、多人数が集まる事業に見合った駐車場スペースがないなどの施設の仕様上の課題などから「否決」となりました。</p> <p>以上が9月議会の市民会館関連についての報告でした。</p> <p>今の報告についてご意見ご質問御座いますか。</p>
山野委員	市民会館のその後の進捗はどうなっているのか。
事務局	跡地利用についてはまだ決まっておられません。
山野委員	それもあるが、新たな市民文化ホールの進捗はどうか。
事務局	阪急茨木市駅東口の市営駐車場の場所に建設をという話ですが、隣の神安土地改良区の話や広さ、経費的な面もあり、一旦計画が様子見状態になっております。次の段階で決定することになると思います。
飯嶋委員	<p>見通しが立っていないということは非常に残念。市民会館というのは、海でいう灯台のような、まちを照らす灯りのようなもの。明りのない状態で海を航行する船たちはどこへ行けばよいのかわからない状態。文化という面で置き換えれば、それを担っている。</p> <p>他市にも閉館後、建設予定が立っていない所があるが、茨木市を客観的に見た時に市民会館がいつ建つか不明瞭な状態は街のイメージがとても暗く感じられる。</p> <p>シンボリックな市民会館というのはどうしても必要。特にここでは文化という言葉を出しているが、文化という言葉は英語で言えばCultureという言葉を使っていると思いますが、耕すという意味ですね。茨木がこれまで耕してきたものをここでやめてしまうと、現状のまま放置すると雑草の生えた畑になってしまう。その時期がいつになるかわからない状態で放置を続けることは次世代にとって非常に大きな損失になってしまうと感じる。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>一例をあげると、マンションなどでも耐久年数 50 年といわれている。茨木市も建物というところで約 50 年といわれているのに、今言っても仕方ありませんが、46 年もたった段階で、50 年経とうとしているときに積み立てなり、建て替えようというビジョンがなかったこと自体が大変問題だと思う。</p> <p>こういう段階になっても、今お金がないということよりも、市民会館を建てるのに約 90 億円かかるという話で、積み立ては始まっていますが、大体の金額を聞きますと、今のペースでは 30～40 年かかる。これをどうするのかという事を話し合うことは、文化を絶やさないという事では非常に有効である。</p> <p>殊、市民会館に関しては、早急に市議会なり市でしっかりと検討してほしいと感じます。</p> <p>もっともなことです。文化芸術の中心施設として存在した 1,000 人規模の市民会館が無くなります。ただ、市内には近接のホールがある。ローズ WAM、クリエイトセンター、きらめきホール。今までの市民会館の使用状況をみても 600 人以上の催しは少なかったという状況である。</p> <p>予約の面等で課題はあるが、それ以上に規模の大きいものに関しては、6 月から運営している立命館でなんとか実施していただきたい。</p> <p>しかし、言われておるようにシンボリックな建物として市民会館は必要だと感じるので、できるだけ早く検討するようにしてまいります。</p>
栗本委員	<p>立命館大学との協議はこの一年間でどの程度進んでいる状況でしょうか。</p>
事務局	<p>ご存知のように市民共用の施設ということで、管理運営は立命館が行っていますが、市民も一定安価に利用できるようになっております。ただ、当初予想していたよりも学生の占用率が非常に多くなっていることが課題として挙がっており、これについては担当部署が立命館と協議中であります。</p> <p>おっしゃられましたように 12 月はほとんど学生が使っており、学校行事も 3 月 4 月と今後多いと思われますので、そのあたりのことは十分協議している最中であります。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
飯嶋委員	<p>実際我々音楽芸術協会は文化振興財団と共催で年1回、市民会館を使ったたくさんの方が一度に楽しめる企画を毎年している。立命館ホールの使用料だと市民会館より使いにくくなっている。実際のところ立命館を使うには土日に関しては特に学生で埋まっているので使えない。前回も言ったが、学長のところまで話が行って、やっと一日空けてもらえた。</p> <p>入場料 2,000 円以上の催しは施設使用料が 10 割増しということです。文化振興財団を通してやっても非常に使いにくい状態が続いております。立命館のホールはあるが、あくまでも立命館のホールであって、茨木市のホールではない。</p> <p>茨木市もお金を出しているかもしれないが、よそからみても立命館のホールがあるよねというだけなので、真剣に検討してもらいたい。</p>
山野委員	<p>昨年、議会のほうから立命館ホールの様子を見てからでもいいんじゃないかという話があったが、それでポシャるようでは、茨木市は文化の都と唱って、力を入れるという割には成人式の大きな規模で予約を抑えられればいいんじゃないかという程度の考えで市民ホール建設に取り組んでいるのであれば非常に悲しい。</p> <p>なにがなんでも、茨木市の文化のシンボルだという捉え方で、庁内でのすり合わせをもっと綿密にさせていただいて、議会も説得させるような取り組みをしないと、議会のレベルも文化に対する真摯に受け止めている様子がない。よほど考えを改めてやっていただかないといけない。</p> <p>飯嶋委員の話でもあったがいままでの市民会館ほどの使い勝手の良さでないと、クオリティの高い催しができない。もっと資金、気力を使って検討していただきたい。</p>
事務局	<p>もっともなご意見です。議会でも度々話題にあがっています。これから十分関係部署と協議して進めていきます。</p>
出口委員長	<p>この委員会は文化振興委員会として、文化振興施策「推進」委員会として、前に向いてという意味で議会に決めていただいたものです。我々は昨年、知恵を出し合っているが、結果的に後退しているのではないかという委員の偽らざる気持ちである。こういった議論が委員会で行われていることを機会があれば伝えなければと思います。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
木村委員	<p>私が 30 年ほど前に、建築を含めた企画を担当していた。今は建てる時に潰すときの計画もやっているが、当時この建物が建った時に、何年たつてどうなるかというビジョンが当初の案としてあったのかどうか。高層ビルを建てるのはいいが、壊す時にどうするのかという大変な議論が起きている。当初どうだったのかわかれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>無かったと思われま。先ほど委員からもお話があったように市政 50 周年を機に文化施設の建設基金を積み立てていくという話が 18 年ほど前にありました。市民会館、文化施設が老朽化しているから建てよう、ということで初年度は 1 億円、途中で止まったこともあったが、現在 22 億円、このところは毎年 2 億円ずつ貯まっています。ただ、全ての金額が貯まってから建てることを待つわけではなく、市債など借金も使っていきます。</p> <p>遅まきながら 17,8 年前から基金を積み立てるようにはしています。</p> <p>ほかの施設もそうですが、耐震基準も変わり公共施設の長寿命化が言われています。大きな建物なので一度建てるとう解体が大変であることも考えて取り組んでいます。</p>
飯嶋委員	<p>私が聞いている限りでは、議会でも建てることは反対ではない、ただ時期が早いのではないかということだが、ではどのような目標を立てて、何年先までにどのようなことをしようかというビジョンを聞かせていただいて、それに向かって我々もいろいろ出せるよう議会にも頑張らせていただきたい。目標が定まれば我々の意欲も上がるので。</p> <p>議会のほうでもなかなか話がまとまっていないので、それをまとめたうえで文化振興ビジョンというものを充実したものにしてほしい。漠然とした、10 年、20 年先でしようという話ではないという形をとってほしい。</p>
事務局	<p>関係部署にも伝え、そのようにしたいと思います。</p>
出口委員長	<p>委員だけでなく多くの市民も同様の感想を持ってらっしゃると思うので、少し見えるような形で、いつになったらどういうものが出てくるかというぐらい、ある程度のめどは提示していただかないといけないと思います。</p> <p>それでは案件の審議に入りたいと思います。</p> <p>案件について事務局の説明を求めます。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>それでは、次に、審議案件について説明させていただきます。</p> <p>本日の案件は次第にありますようにその他を含めると3つあります。</p> <p>①文化芸術推進市民会議についてと、②文化事業実施状況についてであります。その他につきましては、2つ以外に何かありましたらという意味です。</p> <p>まず、一つ目の案件 次第の(2)審議案件①文化芸術推進市民会議についてです。</p> <p>《①文化芸術推進市民会議について説明》</p> <p>第2回の市民会議開催についてですが、今月11月26日(木)の午後1時30分から、男女共生センターローズWAMの5階の会議室で開催いたします。第1回と同様、WS形式で進め、参加者の交流を深めたいと考えています。</p> <p>テーマについては、確定していませんが第1回市民会議で出ましたキーワードのなかから、例えば「広報」「情報発信」「協働」「連携」などからピックアップしてより具体的に深めていきたいと考えています。</p>
出口委員長	<p>どうもありがとうございました。文化振興ビジョンは今年3月に策定されましたが、具体化の第一歩としてこの文化芸術推進市民会議が開催されたということですので、ご意見御座いましたらお願いします。</p>
後藤委員	<p>開催されたということはとてもよかった。ただ、写真を見てお話を聞き感じたことは、若い人がいらっしやらない。人選について、参加者を募集するにあたって文化に関心のある若い発想や、感性が反映されていない気配を感じたので危機感を感じました。参加を打診、募集する際に、若い世代に対するアプローチを考えないといけないんじゃないかと感じました。</p>
事務局	<p>関係団体の中で、市吹奏楽団や茨木芸術中心など若い比率が多い団体にもお声掛けはしているが、会議の時間帯が平日の昼間ですので若い方はお仕事をされていてなかなか出席できない面があります。今年度は既に決まっていますので、来年度以降募集の仕方や開催日程含め検討します。</p>
森委員	<p>後藤委員がおっしゃったことと関連しますが、これだけの団体で、23</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>名の参加者というのは人数的に少なく感じる。</p> <p>ビジョンがこのように具体化することはありがたいですが、各団体の代表のような方が参加されたと思うが、第一線で動いている人たちが参加する必要があるし、建前ではなく本音の議論を行うためにもそういう方たちの掘り起こしを行う必要がある。</p> <p>会議の開催の情報提供はされていると思うが、ワークショップの結果についても HP 等へ載せて次の会につながるアクションをしていただくと、だんだんいい質の市民会議になっていくと思う。</p> <p style="text-align: center;">美術協会や音楽芸術協会も参加されているがどうですか？</p>
木村委員	<p>若い世代の参画の話が出ましたけれども、若い人は行政の呼びかけに対する拒否感があるので、そのあたりをどう呼びかけるかが大きな課題である。</p> <p>話し合っって何かを産むということだけでなく、現在、美術協会と話を進めているのですが、文書を書くサークルのようなものがありまして、交流をもって何かを産みだそうということを行っている。しかし、行政となると難しいのでそうやって行くのがいいのか私自身も考えている。</p>
飯嶋委員	<p>音楽芸術協会として前回参加していただいた方のお話も聞かせていただきまして、文化に関して幅広いお話合いになるので、今回はみなさんとお話しした中でこれという決め手というものは特になかった。簡単に言えば雑談のような形でいろんな話が出たという状態で、話としてはしっかりとした報告は受けておりません。</p>
出口委員長	<p style="text-align: center;">これは各団体お一人ずつという制限はありましたか。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">各団体 1 名お願いしております。</p>
後藤委員	<p>今、木村委員がおっしゃられたように若い人は市がやっていることに拒否感のある方もいると思うが、逆にそういった人に任せてしまい、そういった人こそ市がもっと結びついていくことが大事じゃないかと思う。</p> <p>大阪市の催しにいくつか参加させていただいたが、パイレーツ中之島という、中之島を海賊の島に見立てて海賊になろうとストーリー性のある演</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>劇を行った。こういったイベントも演劇をやっている知り合いが市の方と一緒に行ってた。市と団体で内容を練って練って作られていると思う。やろうとしている若い方とダイレクトにやりとりをして次につなげていただきたいと思う。</p> <p>ありがとうございます。やはりジェンダーバランスですとかバランスですとか、もちろん参加者にそういう質問をぶつける必要はないと思いますが、写真だけでも十分わかります。</p> <p>市のほうでそういうマインドを持って集め方に工夫をする、こういう方向性を持つということだけでも発言を有意義に生かせると思いますし、現にこの委員会もジェンダー年齢バランスが実際取れている。少なくともこの委員会並みにジェンダー、エイジバランスを取っていただきたいと思います。</p> <p>1回目ですからいろんな意見、特にホームページに公表しているのであれば市民の方から意見が出たり、公募していれば参加したいという方も出てくるかもしれませんので、なるべくそういった意見を取り入れてほしい。</p>
後藤委員	<p>取り入れ方の間口についてですが、今の若い世代はデザインの優れたものに食いつくので、キャッチーなデザインについてもう少しアプローチを考えたほうがいい。</p>
木村委員	<p>第一回としては様々な意見を受けて、何か生むかわからないが、きっかけになればいいと思います。大成功だったと思う。</p>
出口委員長	<p>まさに先ほど飯嶋委員がおっしゃったことで、耕すということ。こういう形で茨木市の関係者が膝を突き合わせて話し合う場もなかったもので、一回目より二回目、二回目より三回目と少しずつ進歩していけばいいと思う。</p>
飯嶋委員	<p>市民会議というのは非常に良い会議だと思います。市民会議には各団体の色んな方たちが集まっている。今日一番最後に言おうと思っていた言葉があります。音楽にしる美術にしる、演劇にしる、文化というのは食文化、服飾文化と色々な文化があると思うんですね。そういう風ないろんな文</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>化が、今どちらかという縦割りになってひとつになっていない。それを市民会議が裾野を広げてくれている。</p> <p>もう少し市全体の大きな意味からいえば、音楽協会、美術協会などひとつの大きなプロジェクトというかサークルを作っていくということはおそらく他市ではないと思うんです。全国に発信するにはその人達のトップ同士でもいいですし、その人たちの集まりでいろんな話し合いができて、ひとつ文化というものの集まり。これが地球規模という大きすぎますが、外から見るとすごくそう感じるんです。</p> <p>市民の集まりは大切だが、ぜひもっと大きな意味でそういう集まりを作れるような形、私個人が動いてもというところもあるので、市の文化部として大きく立ち上げてもらえればと思う。</p> <p>至って評価も高いし、その分期待も高い。まだまだ伸び代があるということで、ありがとうございます。</p>
栗本委員	<p>若い方がいらっしゃらないという反面、世代的にアクティブシニアと呼ばれる層というのは、これから自分の人生を、必死で生きて素晴らしいものにしようと思う方々で、少しはお金にも余裕があり、エネルギー的には余裕があり、どう人生に華を咲かせようかと思って集まってこられる方が、代表者の下にたくさんいると思います。</p> <p>そういう方々のエネルギーをうまく吸い上げればよいのではないか。どうしてもシニア層というのは年を重ねれば重ねるほど保守的になっていくので、その保守的な部分を掻き混ぜたりコラボしたり、新しいチャレンジ的な発想ができる若いプロデューサーであったりアーティストと、出会う機会をもつべきでは。</p> <p>3回目、4回目ぐらいでミーティングの成り行きを見ながら、新しい人をヘッドハンティング等で頼んで来てもらって掻き混ぜてもらいながらやっていくと、例えば1年後に立命館大学を日曜日に借りて、何かここでやろうという時だとか他の公演だとかどこかで何か発表会をしようと言う時に、この会議から新しい茨木市ならではの発信ができると思う。その着地点の目標を見つけて進めていくというのも一つの方法ではないか。この場というのを活用していけばもうひとつの茨木市の新しい文化が芽生える大きな可能性があると思う。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	ありがとうございます。最初ですけれど夢のある企画で今後頑張っしてほしいと思う。それでは次の議題に移ります。
事務局	《②文化事業実施状況の説明》
社会教育振興課	文化財行政の説明 1. 文化財とは 2. 茨木市の取組 3. 文化財系の体制と取組 4. 文化財行政の展望
出口委員長	社会教育振興課よりご説明がありました。前半の文化事業実施状況を含めてご意見ご感想等お聞かせいただきたいと思います。
木村委員	事務局から美術展のお話をして頂きまして、歴史も大変古くなりましたし、大変貢献しているということ、また、歴史だけでなく、高校生選抜コーナーを設置するなど、美術展では新しい取組も行っている。他市の美術展ではやっていないようなことを、単に高校生選抜の作品を飾っているだけじゃないかと思うかもしれないが、こういったことが新しい考え方を生むということを私自身その時に知り、良かったと思いました。 美術協会は、市との美術展の長年の取組が評価され、地域文化功労者文部科学大臣表彰を頂いた。私は代表で文化庁へ行きました。ただ、残念だったのが、茨木美術協会から来たというと茨城県と思われていた。茨木市なんてあるのか、と一生懸命職員の人がウロウロしていたというのが僕にはショックでした。
出口委員長	どうもありがとうございます。団体として、美術協会に与えられたということですか？
木村委員	賞の団体の部です。
出口委員長	ありがとうございます。そういうことも是非 PR の方をよろしくお願ひします。大変なものですね、66回というのは。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山野委員	<p>文化財の活用とういことで、茨木市の観光協会で毎月観光ウォークというので、これは一日コースもあり、半日コースもありで茨木の文化財を巡ってもらえるものがある。人気は出ているがやはり年配の方が多い。若い方がもっと積極的に参加してくれるとありがたいんですけど。</p> <p>こういった活動も若者を引き付けるようなそういうことも考えて参りたいと思います。</p> <p>それともうひとつ、前にもお話しましたが、年中行事的な地域のコミュニティ、これがやはり少子高齢化と社会の今の流れですね、伝統的にみんなで力を合わせて作り上げたようなものが徐々に蔑ろになってきて、業者委託で作るとか、そういうところがここ数年顕著に出てきていますね。</p> <p>そのへんも我々何とかして地域コミュニティで、そういったことが伝統文化を大切に作る大きな原動力になると思います。そのへんも何とかして盛り上げていく活動をやっていかなければ。これは行政任せにするのではなくて、我々市民がコミュニティでそういうことをやっていかなければダメだと思う。</p>
出口委員長	<p>ありがとうございました。観光立国の話も出ましたけれど、観光庁あたりから何か色んな施策上の補助金等のプログラムはあるのでしょうか。</p>
社会教育振興課	<p>特に補助金はない。文化庁の補助金などはありますが観光の関係でというのは直接文化財のところに来ることはないです。</p>
出口委員長	<p>地域創世とか国の施策では従来の縦割りと違って今のコミュニティの話もそうなんですけれども、なにかそういうのをまたぐようなかたちが出来上がっているように感じるが、実際自治体の現場では国の施策と、今の話ではかかわっているように感じるんですけども、実際は関わってなくて、文化庁のラインだけということになってしまうのでしょうか？</p>
社会教育振興課	<p>現在のところは助成であるとか活動の補助金がつくというのは文化庁との縦の繋がりになるんですけども、たとえばまちづくりとかの社会資本整備事業とか国交省とかあると思うんですけど、ああいうところの事業と連携して、あそこもまちづくりっていうのは関係してきますので、そこで地域の歴史的な側面からとらえて町おこしに繋げていきますとか言われ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
森委員	<p>るとそういうところは入っていきます。直接的に補助金をもらうということではないが。情報提供したりとか、山間部の方の取り組みとかはあります。</p> <p>今、出口先生がおっしゃった、3, 4年前歴史まちづくり新法で国土交通省、文化庁というお互い矛盾する目的を持った職員が共同提案でできた法律ですけどね。ああいうものが生きてくってことは、今回初めて教育委員会の担当者の方がお話しして頂いたんですけど、市長部局と教育委員会は今まで結構縦割りで行政委員会だから別だという動きがあったと思うが、歴史まちづくり新法を生かしていく為にも市長部局の文化担当と教育委員会の文化財の担当というのは密接に情報公開していかないと、色んな共同の企画をしていかないと実行が伴わない。効果が出にくいんじゃないかと思う。</p> <p>今日初めて文化財担当の話聞いたがその情報も含めてこれからぜひ市長部局と一緒に色んな形で情報提供、情報交換し合っ一緒になってやっていくのが私達が去年からやってきた仕事を具体的な結果に導ける一番いい方法じゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか？</p>
事務局	<p>もともとは平成 24 年度までは教育委員会の方で文化振興も一緒にやっていたが、25 年度から文化スポーツ課ということで市長部局に変わりました。これまで教育委員会だけで進めていたものを全市的に市長部局も含めてやろうじゃないかということで移ってきた経緯があるので、教育委員会とは、より連携を深めながら、教育委員会もですが観光資源としての文化振興、幅広い教育とうちの課だけではなくて全庁的に、関係する課は色々あると思うのでそのあたりも連携して進めていきたいと考えています。</p>
森委員	<p>実際に茨木市だけの問題でなくて大阪府庁でもそうですよね。結局、教育委員会で縦の系列ができてしまっていますので。なかなかうまくいかない部分もあるかもしれませんが、是非茨木市レベルではまず、実行して頂いて結果を出して頂ければと思います。期待しています。</p>
木村委員	<p>大阪府はできなくても、茨木市だからできるというものを、茨木市の規模でこそ、かえってできるかもしれないですね。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山野委員	<p>今のお話ですけど、茨木市では観光、中心市街地活性化、これは内閣府からでております。それから協議会も立ち上げをしましたが結局担当部署でプランニングされているんですね。</p> <p>今のように教育委員会で、あるいは庁内でも色んなところと関連するわけですね、だからその辺りのすり合わせというか、それがあまり見られないのが非常に残念。</p> <p>商店街をにぎやかにするだけでなく周辺の歴史文化のことも突っ込んで、お互い協働して、こういう施策もありますよというようなプランニングをやって頂けるとありがたいんですが。</p> <p>協議会を立ち上げましたけれど、今までの市のマスタープランでは、すごくきれいな良いプランがいくつもあるんです。そういうことが全然、色々と結びついてこない。あれはひょっとして第5次総合計画プランニングの為のプランかなと。実行する為のプランでは無いのかなと。最近そんな変な感覚に陥っている。</p>
事務局	<p>その件については今後、各関係課と庁内会議を行います。</p>
栗本委員	<p>パワーポイント資料の10枚目位ですが、「茨木に眠る文化財」というところ。</p> <p>奇しくも眠るといわれて書かれているが、眠っている文化財がもしかしたら非常に多のかなと、起こしてあげないといけないのではないかなと。</p> <p>やはり文化財というのは、世界遺産なり茨木遺産なりと設定して初めて『こんなに貴重なものが地元にあったんだ』とやっと気づくということがある。そこに設定されないと眠ったままになっていって年配の方や歴史好きな方なら分かるけれど、そうでない方や若い方は全く気付きもしないというような文化財が沢山あるのかなと思う。しっかり無くさずにちゃんと保護されているので、そこを眠ったままではなくしっかりひとつひとつ、起こしてあげる作業をしないともったいない。</p> <p>これはどこの自治体でも多少なり見られる傾向ではあるのですが、せっかく沢山のものがあるので、そこはもう一つの文化振興として掘り起こして、今生きている人達にも分かる形で目の目を見せてあげるということをしていかないと、自治体レベルで終わってしまっているというのはもったいない。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
社会教育振興課	<p>文化財というのは今まで保存という観点で言ってますので、どちらかと言うと「囲って囲って、大事にします、守っています、あまり人目に触れないようにします。」で、持っておられる方も見せたくないとか大事にしたいとかいう色んな思いがありますので。</p> <p>ただ、栗本委員がおっしゃるように活用していくというところは、これは国全体でシフトしていってるところですので、我々としてもやはり市民に知って頂かないと、知ってもらわないと、伝えていけない。</p> <p>個人で守っていくというのも限界がありますので、どこかでみんなで守ろうというところへ切り替えていかないといけない。そういうところで発信していくと言うのは少しずつですが、取り組んでいこうとは思っています。</p> <p>だからテーマ展であったり、資料館の展示であったり、少しずつでも取り上げたい。新たなテーマを設定して発信していくというようなところには取り組んでいこうと思っております。</p>
後藤委員	<p>去年の秋くらいに奈良で行われた古事記展に興味があって行って来たのですが、茨木市所有の櫛が展示されておりました、非常に誇らしい気持ちになりました。そのように「ここにこんな物を出しているな」とか、「ここにこんな風に」とか、ちょっと分かるようにお知らせがあるともっといいのかも。</p> <p>もしかしたら古事記展自体にみんな行ってねっていう他県との連携も、大きな意味ではその時代のことのイベントが他で行われている訳ですから、連携ってあってもいいのかなと思いました。</p>
社会教育振興課	<p>他館への貸し出しであるとか、例えば国が主催の日本伝統展や発掘の持ち回りの展示があるのですが、そういうところにも我々市の保管している文化財を出したりであるとかいうことを行っていますので、そういった時に茨木のものが出品されているということであれば、そういうイベントをあちらでやっていますよとか、茨木のものが出品されてるよっていうところの宣伝というか、そういったところはもう少し意識してやっていくようにします。</p>
飯嶋委員	<p>今の文化財のことに関してですが、今、東奈良に文化財資料館があるので、あそこで大事に保管はされていますけど、よく美術品なんか</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
社会教育振興課	<p>でも市内もしくは市外、国外というところに貸し出して行って展示したりはしてありますが、それに関連したことで例えば今、茨木市の私達音楽芸術協会は会館の方へ足を運んでもらうだけじゃなく、前回も言いましたけど音楽配達便で市内色んなところへ足を運んで、会館に来れない様な方達の為にも音楽を聞いてもらって、本当に喜んで頂ける声が沢山入ってきている。そういうこともあって、かなり赤字を出しておりますけれども、それで年間 30 件位の施設をまわっております。</p> <p>そういう風な形で文化財なんかでも、そこに行かないと見られないんじゃないなくて、何かそういう方法は市民の人達に提示するような方法を、そしてそこに例えばよく美術と美術展と音楽があったり、それから今はよくあるんですけど、文化財と音楽とか。私は音楽の分野ですからそういった発想しか今出ませんけれども何かそんなコラボレーションのようなものができてくると少し活性化してくるのかなと、印象としてありました。</p> <p>我々が出張して発信するという取り組みとしては資料館の出前講座というのを使っておりまして、生涯学習センターでの事業に乗っかっているのですが、昨年ですと 13 件。地域の集まりや、学校などに学芸員が出向いて行って、ある時代のテーマについてお話をします。物まで持って行って見せるというのは難しいのですが、そのように出前講座という形で派遣しております。</p> <p>お話にあった音楽とのコラボレーションということについては、たまたま去年のテーマと合致したのですが、ぼろ塚展というものを開催しました。この時に、三曲協会の会長さんだった尺八の銀越先生をお招きして郡山宿本陣の中で尺八のコンサートをしたことがありました。</p> <p>なかなか面白かったのでこういった取り組みをもう少し発展できたらなと思っています。</p>
飯嶋委員	<p>たまたまというよりは良くあるというか。あってもいいかなと思いますね。</p>
出口委員長	<p>ある意味では茨木市はこういう「もの」が豊富にあって、財政もそれほど逼迫してないということもあるので、もっともっと活用できるのではないかなという期待もあります。</p> <p>ほか皆さんよろしいですか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>今回のように社会教育振興課からお話を頂くなどですね、他の部署からお話頂く様な事を今後も続けて頂けたらと思います。</p> <p>先ほどお話がありましたように、こういったところに観光客を連れて行けば当然観光振興にもなりますけども、市民の方が歩くコースを作れば、これは健康増進ということになります。色んな意味でこれらの財産を地域として、面として、活用していくという事はあり得るのかなと思います。</p> <p>その為にも、現在行っている文化芸術推進市民会議ですが、ああいうところから新しいコラボレーションが出てくればいいんじゃないかなと思います。</p> <p>今年度は無いにしろ、例えばそういったものが将来的にあるのでしょうか？</p>
事務局	<p>おっしゃっていただいたように今回立ち上げて、どういう方向性をもつのか、皆さんの話し合いの中から、意見の中からも出ましたように、市が主導というかそういう場作りみたいなことができて、側面から支援できそれぞれの団体さんからこんなやろうかっていう自然発生的に生まれるのも期待しながら、会議を充実したものにできればと考えています。</p>
出口委員長	<p>もちろん市ばかりでなく、メセナといいますか民間資金で実験的にやるような事はいきなり市がやるというのは難しいこともあるでしょう。ですので、なるべく多くの文化資金を活用しながら、国の施策等も一億総活躍とか地域創生とか色々なものが出てきていて、それを府県レベルで受けとめるというのはなかなか難しいところもあるのかもしれませんが、面としての自治体がこういうものがあるよということで、積極的に国等に提示していくと色々活用できるのではないかなと思います。</p>
事務局	<p>先生方の色々な意見を頂戴したいということが答えになるのですが、現在は日本全国人口減少社会に向かっています。これはご存知の通りです。そこで国もどうしようかということで、実は先ほど委員長からは茨木市は資金があるから何とかできるだろうとおっしゃられた。しかし、実は税収も苦しく、そのような中で今、一億総活躍という施策など色々なことが出ていて、地域創生から言いますと、今茨木市は人口減少の中で総合戦略というものをたてるというタイミングなのです。</p> <p>この計画を立てるか立てないかは市町村の任意ですが、都道府県と国は</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>計画を立て、市町村は計画を立てると地方創生関係の交付金を渡しますよ、ということで茨木市も「じゃあ作ろうか」ということになり資金も一部流れて来ています。</p> <p>その創生計画でどのようなことを謳っていくのか。というのは先ほど人口減少と申し上げましたが、若い世代に住んでもらって高齢者がイキイキやっといこうとか雇用を生み出そうとか、色んな自治体が活性化することをしていく。</p> <p>色々な分野が携わらないといけないのですが、この委員会ではこの町の魅力だなというヒントを頂けるとその計画に意向が反映できるかなと。</p> <p>この間1回目の市全体の会議みたいなものがありまして、部長と私は出てきたのですが、その時に資金が欲しいという意見があって、私は以前健康福祉の担当課におりましてそうすると厚生労働省の資金って結構見えるんです。ところが文化に来た感触ですけどあまり無いというのが正直なところで、文化関係で幾分かはあるのでしょうかけれど逆に何かというと市が単独でやっていかないといけないので、そのあたりはできるだけ経費をかけずに有効にいけるような知恵を拝借できればいいかなと思っています。</p> <p>来年度、決まってはいませんけれど文化関連の計画を作りたいと思っております。先ほど山野さんがおっしゃった「計画の為の計画」ではなく本当に茨木市をどうしていこうかという計画を立てたいと思っておりますので、その時には突っ込んだ深い議論もさせて頂いて市民の皆様に喜んで頂きたい。</p> <p>ただ、本日も何度か気になる言葉で環境立国が出ていました、昨日安倍総理も申し上げていたが、観光という資源が難しいなというのは、市民がこれあって良かったねという魅力と、本当に他市から人を呼べる魅力と二つありまして、どれをどう住み分けてどこにどういうふうに政策に結び付けていくか、これが難しいということ。山野委員にはそれについて日夜ご検討頂いて、人口を増やすのであれば魅力を感じて住んでもらう、経済を活性化するなら何か売りものがあれば、通過人口ですけれどそういう人を入れたいなど企画が悩んでおりまして、何か無いかと聞かれるんですけれどなかなか難しく、例えば「川端康成文学館があるよ」、「茨木神社があるよ」、「辯天さんがある」など色々な話が出てくるのですが、また難しい。</p> <p>こういう仏像なども活用できればいいのですが、まだそこまで実力を持ち合わせているかどうか、寺社仏閣では難しいななど、茨木市もわい</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>わいがやがやと一応話し合っております。</p> <p>文字化するときには色々難しいところがあるのですが、何とかしたいな と思い、それぞれの課が頑張っているということです。そういう形で取り 組んでいますのでお願いします。</p> <p>ということで、市の方からだいたい立場というか、市全体の中の実行 委員会の位置づけ等もはっきりしたかと思しますので、またなにか皆さん でご意見が有りましたら事務局に遠慮なく言っていただければと思いま す。</p> <p>最後に何かご意見がありましたらどうぞ。</p>
栗本委員	<p>最後の件ですが、5年以上前に大阪市でしていたのはやはり市だけでは 難しいということで、民間の商工会議所が委員会、勉強会がトップになっ て、そこに市の方も入って、国のプロジェクトとして町を活性化しよう ということでした。その時はシニア世代の為の事業というようなかたちで うまく国のプロジェクトにリンクができ、共同で商工会議所（民間）と自 治体が手を組んで実験を沢山やっていったのです。その後結局その街歩 きコースを沢山作ろうということに落としていったのですが、その後 平松市長の時にその施策を自治体の施策としてやっていこうとなりました。 そこで、それをそのまま市の方の全体の創生会議ではないですけども、 そういう会議の場に持って行って市長の4つの目標の中の1本に街歩きコ ースによる街の文化活性というところに落としました。そのような2段構 えがあって、現在大阪市に沢山の街歩きコースができつつあり、そこには 昔の文化財を巡る旅から色々な文化的なものが沢山できてきた。そのよう な一つの例ですけれど、そういった経緯がありますので、自治体だけでは なかなか、市だけでは国のプロジェクトや国から予算を貰うということは 難しいですけども、先に述べた形で民間と組むと、うまくできればかな りの、ビックリするほどの予算を頂いて色々なことができたので、ひとつ の手法としてヒントになればと思います。</p>
出口委員長	<p>どうもありがとうございます。大阪で栗本委員が実際に関わっている そうなので、また機会がありましたらアプローチしていただければと思 います。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
飯嶋委員	<p>大阪市で 8 年か 9 年ぐらい続いている大阪クラシックという事業がある。あれも立ち上げた時には大阪市も少しですけれども補助金が出ました。それは出演者も殆ど無償なのですが、楽器を運搬するなど、色々お金がかかるという部分だけを市の方が負担をして、あとは御堂筋全部を使った民間のコーヒーショップや銀行など色々なところが手を組んで大成功しています。茨木市では市の予算的なことが許せば、そのような事業も可能かなと思う。</p> <p>今、メインストリートより北側にあるアーケードのところなどはまだまだ少し寂しい所があるので、空き地があつたりするのであの辺りをもう少し活性化できないかなと思っています。そのあたりも市の方とお話ができたらなど。そして少し活性化できたらということはいつも考えていることであって、理想ですけれどもやってみたいなと思っています。その節はよろしくをお願いします。</p>
出口委員長	<p>最初に後藤委員の方から年齢の話もでしたが、最近の観光立国というところについて、我々がビックリすることがありまして、外国の方の視線は、従来日本人が思っていた観光資源とは違うところに着目されて、逆に言うと我々が行かないような所に観光コースを開発されたりしています。そういった点でも、なるべく多様性のようなものを入れながら基礎的な文化資源の情報を共有しつつ、新しいプログラムを作っていくていければと思います。</p> <p>今日一番驚きましたのは文化芸術推進市民会議のところの 3 ページに「文化を感じるのはどんなとき？」という問いに対して「葬儀」という答えが入っていましたね。これも文化ですけれども、通常は文化というときにあまり使わないような言葉であると思います。こういった意見がこの会議から出てきたということは大変素晴らしいことだと思いますので、なるべく多様な意見を、できるだけ市の方で汲み取って頂くようお願いいたします。</p>
事務局	<p>足早でしたので、他にも添付している資料等ございますので御不明点等がありましたらお聞きいただければと思います。</p> <p>報告のところでも話題になったのですが、今後開催される事業のチラシを後ろにつけています。特に市民会館関係のファイナルイベントを年末にかけて開催しますので、機会がありましたら是非ご参加いただければと思</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>います。</p> <p>次回の委員会の日程は、年を明けまして平成 28 年 2 月 19 日 (金) 13 時半からと考えておりますのでお願いいたします。</p> <p>なお、会場については後日ご連絡いたします。</p> <p>本日の会議録につきましても後日メールまたは郵送にてお送りして内容確認後公開します。</p> <p>本日の会議はこれで終了します。どうもありがとうございました。</p>